

講座の目的：統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てる

開 講 日：令和4年6月7日（火）（予定）

学 習 時 間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、大学教授等、  
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	統計データの活用	豊富な分析事例を通じ、分析に用いる統計的な考え方・データの見方の基本的な考え方を学ぶ（データサイエンスとは、M字カーブの改善効果、国際比較データから日本社会を読み解く等）
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎的な理論を学ぶ（代表値、分散・標準偏差、関係の見方・相関係数、回帰分析、標本分布等）
3	データの見方	データの見方について基本的な方法を学ぶ（比率の見方、時系列データの見方等）
4	公的データの入手とコースのまとめ	誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う（公的データの入手方法、e-Stat <sup>※1</sup> や統計ダッシュボード <sup>※2</sup> の使い方、コースのまとめ等）

※1 政府統計の総合窓口

※2 主要な統計データをグラフ等に加工し、視覚的に分かりやすく簡単に利用できる形で提供するWebサイト

### 講座の流れ

講義動画

確認テスト及び最終課題

修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確保

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

### ▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

#### 「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)

データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開 講 時 期)

平成27年3月、11月  
平成28年3月<sup>※</sup>、12月  
平成29年5月<sup>※</sup>  
平成30年5月、11月<sup>※</sup>  
平成31年4月<sup>※</sup>  
令和元年10月、12月<sup>※</sup>  
令和2年5月、9月<sup>※</sup>、12月<sup>※</sup>  
令和3年5月、9月<sup>※</sup>

(学 習 時 間)

1回10分程度×6～9回程度  
(1週間)×4週

(実 績)

社会人を中心に延べ  
約144,000人が受講

#### 「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開 講 時 期)

平成28年4月、11月<sup>※</sup>  
平成29年11月  
平成30年6月<sup>※</sup>  
令和元年5月、10月<sup>※</sup>  
令和2年9月  
令和3年9月、12月<sup>※</sup>

(学 習 時 間)

1回10分程度×5～6回程度  
(1週間)×5週

(実 績)

社会人を中心に延べ  
約55,000人が受講

#### 「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)

公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

(開 講 時 期)

平成29年6月、10月<sup>※</sup>  
平成30年12月  
令和2年1月  
令和3年1月、5月<sup>※</sup>  
令和4年1月

(学 習 時 間)

1回10分程度×5～7回程度  
(1週間)×4週

(実 績)

社会人を中心に延べ  
約28,000人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座